

回答
ANSWER

質問
QUESTION



いわた じょうじ
岩田 譲治

防災機能の充実を

連携体制づくりと、役割分担の明確化を図ります

〔総務課長〕

全国の公立学校の約9割が災害時の避難場所に指定されています。熊本地震では300校を超える公立学校が避難所になり、約6万人が長期間利用しました。そこで避難所、防災機能についてお尋ねします。

質問 避難所となる体育館の耐震化はできていますか。

回答 すでに耐震補強済みです。また、照明器具、壁掛け時計、スピーカーの固定化、窓ガラスの飛散防止フィルム貼りなども施してあります。

質問 備蓄品の確保スペースはありますか。

回答 3小学校の防災庫に資機材が保管されています。食料品は保管温度の関係で、水道事務所で一括保管しています。近年は一括管理ではなく、分散型が良いといわれていますので、今後は校内の空き教室などを利用することを検討します。

質問 緊急用の貯水タンク（飲料水防火水槽）がありますが、何人分の飲料水が確保

されていますか。

回答 貯水タンクは町内に6カ所（役場、各小中学校）にあり、各40tの飲料水が貯水されています。1人当たり1日3ℓ、人口15000人で、5日間分確保しています。

質問 各避難所に自家発電機は設置されていますか。

回答 避難所をまかなえるだけの自家発電機は設置されていません。今後は国・県の補助金を活用し整備を進めます。

質問 避難所のトイレは重要ですが、仮設トイレは十分確保されていますか。

回答 簡易トイレが194個あります。1避難所に20〜25個設置可能です。国のガイドラインでは、災害発生時は50人に1基が必

要とされています。避難が長期化すると20人に1基設置すべきとされています。仮設トイレやマンホールトイレの整備も引き続き検討します。

質問 公衆無線LANは整備され、避難時には町民に開放されるシステムになっていますか。

回答 小中学校の授業用には整備されていますが、セキュリティ

を確保したいと考えています。

以上のように、避難所の環境整備は十分ではありませんが、現状を受け止め防災担当課、教育関係、区長、民生児童委員を含めた、地域住民との連携体制づくりと、役割分担の明確化を図りたいと考えています。



中組防災訓練で仮設トイレの組み立てを体験（結小学校体育館）